

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前    | 得点/400 | 審査員講評   |
|-----|------|-------|--------|---|
| 1   | 府槻の木 | 上原 小町 | 249    | <p>声量が小さく発音もはっきりしないのでよく分からない。まず音声表現としてしっかりやるよう心がけてください。抑揚がうまく機能していない。タイトルと本文のポーズをもっととるべき。声のキレをもっと欲しい。「おもい」うもいに聞こえる。全体的に速く、ポーズを取ってほしい。聞き手が想像する間がほしい。ラスト余韻ほしい。1語1語が少しべたべたしている。少しうねりあり。名乗りから違和感。うねり。場面の緊迫感なし。ダラダラしている。音の高低不自然。区切れの間伸びあり。文末締める→下手に聞こえる。拓一のセリフの扱い。1. タイトルコールだけ暗くなってしまいました。全体として、せりふだけが張り切っている、地の文が低音でもぞもぞしています。放送部のアナウンサーとしての伝達力も試されています。ニュースやお知らせも練習してください。「こうさくは今やっぴ」で塊ではないと思います。たくいちの最後の声は、そんなに明るく元気いっぱいかな？</p> <p>中身だけでなく前後も考えて読もう。くさらずに：不明瞭。ナ行。鳥谷さんのセリフそんなしみじみか？ 場面考えて。母親のセリフの構成イマイチ。もう少し生き生きと。「母が言いました」が女の子みたいでした。「僕も思います」も、急に子どもっぽいです。鳥谷さんはそんなに渋いキャラですか？</p>              |
| 2   | 府北野  | 木島 梨里 | 280    | <p>マイクに声をうまくのせている。声と作品世界が合っている、が、ややこじんまりまとまるきらがある。間を思い切り使って発音ももう少ししっかりして伝える意識を。作品と声は合っている。ふわふわしている。低い音も使えると良い。口先の発音になっているので、もっと前に声をとばしてほしい。少しマイクに近いかな。息づかいがマイクにのっています。緩急のつけ方OK。音域ももう少し広がるといい。よしもとばななな息になっていない。意味の捉え方イマイチ。落ち着いた読み。話の塊ができていない。声に合った場面抽出。句末少し伸びる。音域もう少し使えたら。2. 「ていうものじゃ」など、あまりゆっくりしやばらなくてもいい箇所があると思います。丁寧に伝える努力は分かったけど、生きてる言葉は、もっと速度が揺れると思います。「だからこそ」で一つの言葉です。「見つけれたら」で終わってしまったように聞こえます。</p> <p>地の文と「 」の差がなく全体に変化がない。課題と声合っていない。別の発音が聞きたい。必死に生きようとしているのが想像できない。テンポよし。内容もちょっと考えよう。締め部分、切りすぎ。鳥谷のセリフの処理。「たれよりも」に聞こえます。「一生懸命」の発音は「イッショウケンメイ」です。発音が明瞭なのは良いことです。アナウンスにも挑戦してください。</p> |
| 3   | 桃山学院 | 松井 結希 | 272    | <p>声量はある。発音がぼんやりしてははっきりしない。語り口を作ろうという意識はあるが、まだ工夫できそう。間がない。文末、切れ目、助詞が伸びてふわっと浮くのが気になる。レキシントン：力行サ行気になる。声のキレが欲しい。だろう、立ちならぶ：不明瞭。BMW聞きづらい。なぜこの場所を抽出したのか。何を伝えたい？ 声の質と抽出がいい感じにマッチしているが、その抽出場所がもったいない。一本調子になりがち。区切りの音伸びる。意味の塊捉え切れていない。うねり。単調な読み。なぜこの場面を抽出？ 3番のアクセント。句末伸びる。文末しっかり止める。このシーンのメインは何？ 3. 番号と名前が極端に低くなりました。無声化をあきらめないで。「僕は4月の午後」ではないと思います。吹かれに注意。「少なくとも」のあとのポーズは要らない。「ひととて…家だった」までひと塊。アナウンサーとしての伝達力が見に着いていないと思います。「ゆっくりと」をゆっくり言う必要はないのでは？</p> <p>くさらずにイ：伸びる。くさった：夕行。鳥谷のセリフ場面的に合っているのか？ テンポよし。「～だよ」の処理。句末伸びる。語尾伸び注意。低音からずり上がる場面が多すぎると思います。「横田」は「よ」だけを高く。「思うのです」のあとのポーズは長すぎ。</p>             |
| 4   | 浪速   | 山田 元気 | 入選     | <p>ささやきをうまく使いこなしている。間の使い方もよく工夫されている。ドラマの起伏の設計もよい。マイク遠い。緑色：ミドデイロに聞こえる。さずつきやすい：不明瞭。すると…弱い。想像できる。分かりやすい。声の質と抽出場所がマッチしている。緩急の工夫◎。やや不自然な発音。間やテンポの工夫が見られる。音が聞こえないところあり。印象の残る読みだがやりすぎ。作品名ははっきりと。音のさばきの良くない部分あり。4. 声を安定させましょう。張った声と抜けた音が混ざらないほうがいいです。子音のs Zの発音を見直してください。「」の後の「と」が離れすぎていると思います。「イチジク」は「ち」だけを高く。</p> <p>ささやき気味なのが効果的ではない。前後の内容も踏まえた工夫の余地。少し発音が奥。夕行気になる。サ行：thなりがち。思う：おぼうと聞こえる。終わりふくらんだほうが良いかも。希望なく聞こえる。母のセリフイマイチ。母のセリフのレージング疑問。「野球の神様」しゃくらない。完全に別の声になってしまいました。さすがに変わりすぎだと思えます。「引退試合」のあい」が雑でした。鳥谷さんはだしぬけに言ったんじゃないかと、流れの中で言ったはずで。唐突になりすぎないほうがいいと思います。アナウンスにも挑戦してください。</p>                |
| 5   | 相愛   | 木村 音葉 | 3位     | <p>声量はある。地の文と「 」の区別など考えているが、もっと素直にシンプルな表現でよいのではないか。今だって：イモだつてに聞こえる。優しい声。「ついてきてよ」が少々強く聞こえる。「いったのに」ちょっと立ちすぎ。作品と合っている。イメージがわいてくる朗読。間の取り方、緩急など◎。自然な呼吸。落ち着いた読み。「ついてきてよ」命令のように聞こえる。区切りや締めよし。場面の切り替えがもう一つ。5. 「買い物」が低くならないように注意。「くついで」の無声化をあきらめるな。「ふと思った」の「と」は低くならないはず。 「なつても」のたて直しは要りません。「あつたどらうに」を立て直さないで。</p> <p>シンプルに読みこなしてはいるが、前後の内容的にこれでいいのだろうか。お母さん弱気に聞こえる。地の文のような読み。全体的に弱気に聞こえる。教科書的な読みだが、本当にそれでよい？ 鳥谷のセリフ。「病気になるまで」のあとのポーズは無くてもいいと思います。「そういう」の前のポーズが長すぎかな。「神様の」で下がりすぎ。</p>   |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前      | 得点/400 | 審査員講評   |
|-----|------|---------|--------|---|
| 6   | 梅花   | 井上 舞弥   | 286    | <p>音の頭が強くマイクを吹きまくるので注意。声は大きく安定している。文体と読み方が合っている。少し発音滑舌が甘く聞き取りにくいところも。かぜ：不明瞭。なることがある：不明瞭。くみにいくし：アクセント。～り～り：う行気になる。お金でやとって：不明瞭。細かい音が聞きづらい。よしもとばなの息にしては必死すぎる。もっと楽しく読んでほしい。少し言葉がべとべとしている。語尾伸びがち。文末の音下げができていない。アクセントの間違い気になる。文頭の息の強さが耳障り。意味のかたまりを考えて。区切りすぎ。音伸びあり。文末下げる。ポーズ・テンポにもう少し工夫を。「思うだろう」の調子。6. アクセントの高低差を、もうちょっと広くしたいです。文末も、ちゃんと最低音まで下がってください。「汲みに行く」のアクセントが違います。「ああ！」が感動しすぎ高すぎ。無声化をあきらめな。「お金で…ない」まで一息で言えると思います。息継ぎの直前に、余った息を吐きだしているように聞こえる箇所がありました。</p> <p>勢いがあるよ。力むと滑舌がより不安になる。速い。もっとポーズを取っても良。鳥谷：不明瞭。終わり？ 少し速い。「」の文はもう少しゆっくりでは？ 区切りすぎ。締め方イマイチ。最初の「」の処理。鳥谷のセリフ。「絶対に」で音量が上がります。吹かれに注意。てりたにさん？</p> |
| 7   | いちりつ | 村上 遥香   | 268    | <p>スピードや間が一定、機械的な感じがする。作品世界をもっとイメージして。声も最初は安定しているが、だんだん弱くなっていく。弱めるのが効果的ではない。タイトル弱い。マイクに声がちゃんととっていない。声の圧が弱い。発音をもっとちゃんとしてほしい。声が小さいので聞き手まで内容が伝わらない。なぜそこを抽出したのか。その抽出場所なら、特に前半はもう少しゆっくり出ない情景イメージが追いつかない。長い文の処理ができていない。物語の筋が見えにくい抽出。意味を捉えた読みができていない。列挙の部分の読みができていない。「ドア」のアクセント。文末に近づくと音が響かない。「音を立てる」のアクセント。7. 長い文の後半が低くなりすぎて音の箇所があります。読みながらマイクから離れていったか、あるいは読みながら顔が上下に動いたか、とにかく音量が不安定でした。自然なイントネーションが身に着いていないと思います。防虫剤のアクセントは中高だと思えます。</p> <p>起伏が乏しく、感動の動きが伝わってこない。口が閉じ気味。そんなしじみじみ読むか？ 弱い。やや単調。締め方イマイチ。後半はOK。急に音量が上がりました。「野球をやるという」に聞こえました。アナウンスも練習して、放送部アナウンサーとしての伝達力を高めてください。</p>                       |
| 8   | 桃山学院 | 原山 佳穂   | 271    | <p>音量はあるが、発音が不明瞭でふわっとする。ぶっさらぼうな語り口がこの作品に合っていないような気がする。自分の語り口を捨てたほうが良い。課題文も含め、「」の中の人物像の捉え方、出し方がワンパターン。よしもとばな：伸びる。声を変えている。予約：不明瞭。ためしに～近所：変なリズム。緩急が変なリズムになっている。伸びたり速かったり。クセですかね。少し演技調になってしまった。自分の世界に入ってしまう、伝えることが弱くなってしまった。うねりあり。よしもとばなな息になっていない、言ってしまう自分勝手な読み。意味の伝え方ができていない。低音部が苦しそう。少し歌い上げている。もっと自然に。8. タイトルコールの苗字だけ遅かった。「試しに」が遅くて「近所の」が速いんですか？不思議な緩急だと思えます。「すつとんで」は無声化。文の冒頭だけ高く大きく遅いのパターンになっていると思えます。</p> <p>言いました：下げすぎ。母のセリフが違う。セリフをセリフとして読みすぎ。声は出ている。話し言葉の息になっていない。締めの重ね方イマイチ。最初の「」の扱い。鳥谷のセリフの処理。「あんたがいつも」が、うんざりしているように聞こえました。アナウンスも練習して、自然な話し方を身に付けて。</p>  |
| 9   | 浪速   | 西牟田 悠里衣 | 278    | <p>アクセント、イントネーションが間違っているところがバラバラあって、集中できない。もっと素直に前に出したほうが良い。声がうすい。盛り上がりがない。「小さな幸せ」浮く。まんまる：不明瞭。色あせて：アクセント。大嫌いだ：ニュアンスのあてほしい。分かりやすい。丁寧に読もうとしており、工夫もあって聞きやすい。意味の伝え方イマイチ。一方～からのシフトチェンジがイマイチうまくいっていない。単調な読み。同じペース。文末処理良くない。「溺愛」のアクセント。終わり方にも工夫を。9. 作者名が低く、タイトルが高くなくなってしまった。「特に」は、そんなに高く遅く始めなくてもいいのでは？「色あせて」は中高です。「忌み嫌っていた」のあとのポーズが長すぎでは？「許せなかったのだろう」のあたりで息っぽく感じました。マイクから遠くなったかな？</p> <p>「」の中が工夫しようとしているが効果が出ていない。ささやき声みたいな母のセリフ。しっかり読めており、イメージできた。母は言いました：言えていない。最初の「」の扱い。課題の方がよい。「一生懸命で」のあとのプレスは要らないのでは？「そういう」の前のポーズが長すぎ。「くしくも鳥谷さんが」は、そんなに積極的に高く遅く言うんですか？</p>  |
| 10  | 府東   | 後藤 美音   | 277    | <p>マイクに近すぎるのでプレスノイズが入る。スピード感があるのはいいが、早く聞き取れないところがある。緩急は考えられているので、早すぎないように。盛り上がりなど考えられてよいので、プレスノイズとスピードを修正して。タイトル遅い。一文目とどんどん速くなる。幽霊がヒューレイに聞こえる。速さ工夫しているが、速すぎる。息の音が大きくなり聞こえる。緩急が激すぎる。マイク少し近い（息づかいまで入っている）。少し演技調になってしまった。緩急の急が速すぎてついていけない。マイク近い。息の量多い。居間のアクセント。緊迫感工夫している。スピードや高低をコントロールしきれていない。早口の部分が逆効果。ポーズの入れ方。10. マイクに近すぎる。「これという意味もなく」ではなく、何をしたいかが大事では？「木槿」は、「きづち」で、アクセントは頭高。「ひゅーれい」になってしまった。ムードに流されないで、あなたの普段の声で丁寧に伝えてほしいです。アナウンスにも挑戦してください。「考えてみれば」は、そんなに高く大きく遅く言うんですか？</p> <p>切れすぎ。もっと他者的に読んでどうか。区切りすぎ。「神様が～」急に高くなる。もっと自然に。声色・強弱不自然。ささやきアニメボイスから抜け出してください。小説ではなく実話です。劇的過ぎる表現は使いにくい。</p>         |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前    | 得点/400 | 審査員講評   |
|-----|------|-------|--------|---|
| 11  | 相愛   | 山本 有里 | 1位     | <p>作品の部分選びがよく、「 」の中の読み分けがうまい。ささやきで声が小さいが、発音がよく、よく聞こえる。これ以上弱くならないようもう少し前に声が出るように。死んじゃだめだよ：すんじゃに聞こえないこともない。セリフ少々小さい。雰囲気OK。よく想像できる。読みこなせており、状況が浮かんでくる読み。少しやりすぎ感はあるが、丁寧に読めている。落ち着いた読み。セリフ良い。印象的。福子の覚悟が伝わる。耕作のセリフ？11. 1文目の存在感が良い。「でいじょうがよ」になってしまいました。ふくこのせりふの前半、あんまり低音だけに囚われると不自由です。「ひどく」を低くしないで。「腐らせたく」の次の「ない」はつがさないほうが良いと思います。</p> <p>もう少し前向きな明るい内容ではないか。優しい声というのがテンプレートになっている。セリフや地の文が課題と同じような読み。違う声も聴きたい。鳥谷のセリフはそれでいいか。「～だよ」の感覚。鳥谷さんの言葉は、そんなにぼつりぼつりじゃなくてもいいと思います。</p>  |
| 12  | 関西千里 | 芝川 あさ | 入選     | <p>声大きく、声の表情が明るくて良い。発音もはっきりしている。読みの流れが、起伏がうまく機能してなくて伝わってこない。ぼんや：不明瞭。うねりが気になる。セリフ的などところどころから分からない。声は作品に合っている。丁寧に読み。会話文と地の文の違いもよく分かる。語る呼吸ではなく読む呼吸。語りになっていない。長い文の処理イマイチ。間やテンポが単調。「～ような」の処理。終盤の強弱のつけ方ももう工夫欲しい。12. 「思い出した」の「お」が消えました。「獨創性」が低くて「行動力」が高いのはおかしいです。最低音まで下がるのは、文末だけにしてください。「私まで」で、そんなに高い声が使えらるなら、もっと早い段階から使ってほしいです。低音からずり上がる読み方が多すぎて、全体が卑屈な感じになっていると思います。</p> <p>「 」の中が単調。もう工夫。セリフが怒っているように聞こえる。速い。もっとポーズをとって、想像できるようにしてほしい。こちらも丁寧に。間の取り方も◎。締め方がイマイチ。鳥谷のセリフ。課題に入っても、低音からずり上がる読み方が多く出てきました。「くしくも…のです」は、うまく軽くできたと思います。</p>  |
| 13  | 桃山学院 | 東浦 愛夏 | 288    | <p>声量大きく、よく聞こえる。はっきり過ぎる発音も作品に合っている。読む部分を選ぶ際、状況がわかりやすい所から始まったほうが良い。切れ目など声を響かせすぎるので大きめに聞こえる。もっと普通に。～ば、～ば：音程が同じ。切れる前の言葉が伸びる。セリフ声を変えず。～けるに、～ことにぞ：宙で浮く音程。古典作品で緩急を活かして読んでいる。ただ強調するところがそこのいいのかという感もある。マイク近い。区切りの音伸び気になる。区切りすぎ。意味を伝えるのではなく自分に酔っている読み。地の文とセリフの区別をもっとはっきり、地の文はもっと淡々と。13. 「ゆかにゆかに」？ 語尾の助詞だけ長く強くなっているのが不自然です。発音は明瞭で良いと思います。ただ…書かれている内容に沿ってではなく自由に緩急をつけていると思います。放送部アナウンサーとしての伝達力や読解力が身に着いているとは考えにくいので、高い評価はできません。</p> <p>伝えるというより、教えるような読み。少し押し付けるようにも感じる。少し重くなってしまった。暗い。急な低音不自然。「『 』と」は切らない。概して素直に聞ける。「やるっという」の言い方が、自然な話し方ではないと思います。「ではないか」のブレーキに違和感があります。課題文も語尾が伸びました。</p> |
| 14  | 浪速   | 高木 咲月 | 5位     | <p>地の文と「 」のバランスが差をつけすぎず丁度良い。終わらせ方の工夫が良い。全体に声は大きくないが安定している。聞き心地の良い声。言われることがある：ささやき。ふと：不明瞭。おこづかい：浮く。ニュアンスが地の文ののっていい。丁寧に読み。情景もわかる。息の多い声。「言われることがある」イマイチ。ふと：聞こえない。間やテンポの工夫や締め方良い。意味構造をしっかり把握して。14. やや囁き口調に聞こえます。「言われることがある」をずり上げる必要はないと思います。「子どもたあるきながら」になりました。はっきり言ったのは、どの言葉かな？ 「なっても」の立て直しは無くていいと思います。つがやく言葉にたどり着く前、番号の時点で囁き越えを使わないほうが良かったね。</p> <p>読みとしては悪くないが、前後を考えるとこれでいいのか再考を。もっと生きる強さを表現できたらGood。はじめ少し速かった。鳥谷のセリフイマイチ。締めの重ね方イマイチ。鳥谷のセリフの扱い。普段の声を生かしたいです。アナウンスにも挑戦して、自然な伝え方を身につけましょう。</p>   |
| 15  | アサ国  | 井上 愛彩 | 入選     | <p>声量安定している。読みも安定しているし発音も悪くない。終わらせ方が工夫がない。番号キレが欲しい。うら行。星空：不明瞭。先日～：速い。ところどころ聞こえづらい。一語一語丁寧に。少しマイクに近かったかな。丁寧に読み。間もOK。マイク近い。イントネーションに難あり。語の輪郭が伝わらないところあり。セリフ等工夫あり。アクセントの間違いあり。セリフとして読むところはどれだけ？15. もうちょっと、覇気がほしいです。本文からは元気だったのに、タイトルコールが不発でした。「そうだなあ」は、そんなにため息交じりかなあ？「あの ひよみち」に聞こえました。「夜中」の「よ」がつぶれました。ちびのせりふ、美在の女の子だから、あんまりかわいらしくはできないと思います。</p> <p>鳥谷さんのセリフが良かった。速い。「絶対に野球をやる」の部分をそう読むのは違和感。弱い。もっと生きる希望を。母のセリフとモノローグイマイチ。低音に頼りすぎた部分があったと思います。「そいう」の前のポーズが長すぎ。</p>  |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前     | 得点/400 | 審査員講評   |
|-----|------|--------|--------|---|
| 16  | 梅花   | 井倉 由翔  | 入選     | <p>安定した読みで聞きやすい。ただもう少し声の幅が必要。作品の世界を表現できている。間もよい。げんちょう：けんちょうに聞こえる。つかなかった：聞こえづらい。もう少し緊張感があれば。スピード感が欲しい。丁寧にしっかり読んでいる。音の間こえないところあり。低い音出しきれていない。うねりあり。情景描写がモノローグに引っ張られている。表現の工夫は見られる。低音部の響きが悪い。16. ややマイクから遠いかな? 「ごそごそという」は文末ではないので、最低音まで下がらないほうがいいですね。「耳を澄ませた」など、低音の部分がマイクから遠く感じます。顔の上下動があったかな? 「息を」の「い」だけを高く。ちょっと低音に頼りすぎかもしれない。自分の音域をどのように使えば、いちばん安定して説得力を持って伝えられるか。</p> <p>力強く読めている。全体にもう少し前に声が出るとさらに良い。サ行。鳥谷さんのセリフだろうか。いいスピード。鳥谷のセリフに違和感。締め方イマイチ。素直に聞ける。小説ではないので、「」のなかを役者さんのような演出でしゃべるのは、あまり適切ではないと思います。「くしくも行ってくれましたが」を軽くしたのは良かったですね。</p>  |
| 17  | 相愛   | 藤 恵真   | 6位     | <p>安定していても間も程よくとれている。「」の中の読むをもう少し研究。差はつけられてはいるが、人物の心の動きに乏しい。番：ぼんとは聞こえなかった。明るくなったセリフもっとニュアンスのせてほしい。間の取り方◎。低い音良い。印象的。地の文とセリフのバランスも良い。耕作のセリフイマイチ。耕作のセリフの表情。福子のセリフはOK。17. 「ちょっとの間」のあとのポーズは長すぎだと思います。「明るくなった」のあとのポーズも長すぎだと思います。「きつと」は無声化。「黙って」は「ま」だけ高く。「どうしていいの」を慌てないで。「じつと」のあとの情報が雑です。</p> <p>前後の内容に照らしてこれでいいのか再考を。元気がない。横田さんの息ではない。鳥谷のセリフもどうだろうか。「」の読み方イメージどおりでした。締め方イマイチ。課題文に関しては、もうちょっと張った声で読み通してもいいと思います。「くしくも」の前で切り替わりすぎ。</p>  |
| 18  | 桃山学院 | 波多江 綾子 | 278    | <p>声のトーンが安定しないのが気になる。全体の流れをもっと意識して部分的に演出しないように。声を作っている。選挙カーの発声。そのくらい：はねるような止め方。文のまとまりがほしい。～かもしれない：工夫。う行きになる。～あるはずだ：中途半端な音程。丁寧に読みだが、抽出場所はそこでもいいかな。うねりあり。区切りすぎ。句末の音下がらずに伸びる。自分勝手な読み。語りの呼吸になっていない。サンダルの発音。句末処理微妙。もっと淡々と。表情つけすぎ。18. 番号だけ低くなってしまいました。「気持ちワクワクする」のイントネーションに違和感があります。「ああもう履けないんだ」も自然にしたいです。無声化を練習してください。「ちっほけな」を遅くしなくていいと思います。「きつと」は何に依る言葉かな? 「メニュー」だけ高いのはおかしいです。意味のまとまりの途中でポーズやブレスが入ってしまった箇所がありました。</p> <p>声が大きくきれいに発音できているが、中身とリンクしていない。～するのです：急に下がる。元気はある。意味の塊をとらえていない。最初の「」内のフレージング。鳥谷のセリフ。母の言葉は間接引用なので、歌い上げる感じにならないほうがいいと思います。「思うのです」のあとのポーズが長すぎる。</p>  |
| 19  | 浪速   | 富山 了   | 284    | <p>語尾がしぼんでしまうので聞き取りにくい。場面選びこれでいいか。声の大きさで表情をつけすぎないようにしてください。数日前：不明瞭。口の開きが甘い。一語一語丁寧に。そのうえに：不明瞭。文に工夫がある。炊いている：そんなにここだけ立てるか? 間の取り方◎。音域もうまく使っている。文末聞こえない。イントネーションに難あり。うねりがある。意味を捉えた表現になっていない。ただただ感傷的に読んでいる。表現を工夫しようとはしている。音の響き良くないところあり。もっと淡々と。19. 作者名のあとのポーズが長すぎると思います。「自分を訪ねて」のあたりで高い声が出てきました。そういう声を使えるなら、タイトルコールから使ってほしいです。「その」がThになってしまいました。「という」が高いのはおかしいです。「飯を炊いて」の「炊いて」だけ高いのはおかしいです。怖がらせようとしすぎだと思います。憐れませようとしすぎだと思います。</p> <p>強弱をはっきりつけすぎなのがこちらはいい方に出ている。でも語尾は消えないように。声を作っている。母のセリフの読み違和感。元気はある。最後自信なさげに聞こえる。終わりの方、そんなに強い調子だろうか。母のセリフイマイチ。モノローグや鳥谷のセリフも再考の余地あり。強弱のつけ方が不自然。「一生懸命」のあとの「で」が聞こえませんでした。アナウンスにも挑戦して、放送部アナウンサーとしての伝達力を高めてください。</p> |
| 20  | いちりつ | 萩原 綾乃  | 288    | <p>キーワードになる所が弱く聞こえていない。強弱を考えられているが、弱い所が聞こえにくくよく分からなくなる。滑舌が悪くなる所がある。泥流地帯のタイトルが元気すぎる。いっしょくた：不明瞭。じたばた：不明瞭。上から下に読んでいないところがある。うねり。緩急のつけ方◎。音域もうまく使っている。もう少しほんの少しだけイメージする時間が欲しかった。文末聞こえない。表現に工夫は見られる。馬乗りになっている拓一のセリフが落ち着きすぎていて違和感。場面を解釈できていない。もう少し淡々と。終盤もう少しテンポを落としても。20. 「でいりゅう」と書くけれど「デーリュー」と発音します。「たくいち」は中高が望ましいです。「一緒くたに」は中高だと思います。「なっていた」を立て直すのはおかしいです。「すにでて」になりました。意味の切れ目と息継ぎの場所が合わない箇所がありました。「若かった」のアクセントは頭高です。</p> <p>地の文が弱い。「」の中は良い。地の文と合わせて。母：不明瞭。セリフそんなふうを読むかな。地の文の元気がない。鳥谷さんのセリフ違和感。モノローグや鳥谷のセリフイマイチ。切り替えようとしているのは分かりました。芝居ではなくモノローグなので、あんまり凝った表現で母の言葉を読むことはできないと思います。</p>   |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前     | 得点/400 | 審査員講評   |
|-----|------|--------|--------|---|
| 21  | 四天   | 谷田 瑞季  | 278    | <p>発音は良いが、声が高くうすい。文章の切れ目を工夫しているところがうまく効果を上げていない。もっとつながりて読むべき。マイクと口がずれている。声を作っている。声が奥の方で発声されている。もっと前に出してほしい。あなたはスキーを～：もっと間を使ってよい。水男にしては早口。イメージと違う。文末クセがある。もう少しゆっくりの方がイメージ沸きやすい。間の取り方は◎。息の多い声。なんだかワクワクしているように響くがそういう場面？ 文末の「夕」にクセあり。文末しっかり下げよう。21. 母音の発音が子供っぽくならないように注意。語尾の横開きに注意。「このさき…あるまい」だと思います。意味の切れ目と音の切れ目が合わない箇所があります。「というような」の前の2回の息継ぎが邪魔でした「こうして」のあとの息継ぎは要らないと思います。地の文が色っぽ過ぎると思います。</p> <p>間の取り方が良い。骨太な作品をしっかり読む力をつけて。あの引退試合の～：うねり。鳥谷さんのセリフ違う。母の「」はそこまで感情を入れなくてもいいのでは？ 母のセリフイマイチ。鳥谷のセリフは違うかな。課題に入っても、ラブファンタジーの雰囲気から抜け出すことができなかつたと思います。「くしくも」のあたりから、やっと普通になったと思います。</p>   |
| 22  | 相愛   | 林 夏香   | 4位     | <p>安定した声が出ていて、間の取り方がしっかりしている。早さもちょうどよい。文章内の語りかけがよく意味がよく意味が聞こえてこないところがあった。46こ：下がりがすぎ。このお寿司は～：うねりがある。「彼とケンカしたの？」優しく寄り添いすぎ。もっと適当な方がよい。後半、並列表現のあたり少し速かった。それ以外は状況がよく分かる読み。輪郭のくっきりした音。母の思い出伝わる。区切りの間イマイチ。文末もう少し下げたい。母のセリフ。曇りかける表現もっと意識して。22. 番号だけ積極的にになりました。第一段落に余裕が出て、伝わりやすくなったと思います。母の言葉の間接引用も、つまみかきました。「ぐわい」ではなく「くわい」です。「体調崩して」になってしまった。「そんな」の前に短いポーズが要るかな。低音に余裕が出てきました。「力をもらえるようなやさしさ」にはさらに工夫を。</p> <p>男性の語り口（地の文）がこれでよいか。「」の中についても再考。丁寧。鳥谷のセリフ違う。～ないか？：元気に希望を持って読んでほしいかった。モノローグの表現イマイチ。鳥谷のセリフも違うのでは。「神様が見ていて」の前のポーズ長い。「絶対」のzが不鮮明でした。「ないか」の立て直しは要りません。「ないか？」のように言う必要は無いと思います。</p> |
| 23  | 桃山学院 | 國次 菜月  | 258    | <p>地の文の声を太くやややささき気味にしているがもっと自然な声で自然なトーンでやってほしいかった。思わせがりに弱くするのが効果的ではない。番号にキレが欲しい。「歩いていってみました。家々～」同じセリフなのに声が変わったのはなぜ？ 空から：アクセント。どこまでがセリフか地の文なのか分からない。「」の文、すべて同じ調子にきこえます。もう少し素直な読みの方がいい。うねりあり。長い文の処理ができていない。語りの息になっていない。区切りの音が伸びる。不自然な声色。全体にもっと素直に。この場面を選んだ意図は？23. 助詞伸びに注意。低音に頼りすぎだと思えます。怖がらせる努力よりも、情報を着実に伝える努力を優先してほしいです。アナウンスにも挑戦して、放送部アナウンサーとしての伝達力を身に付けて。「た」で終わる文が、ほぼ全て、語尾伸びになっています。</p> <p>「」の中を自然な話し方にするべき。言いました：うねり。セリフくどい。～ます：th。サ行気をつけて。うねりあり。母は何者？ モノローグの表現イマイチ。鳥谷のセリフも再考。母のこぼれの色付けが不自然。もっと淡々と。大きな壁を乗り越えて野球に戻った息子に、そんなに落胆した声で話しかけるかな？「思うのです」のあとのポーズがやたらと長い。</p>          |
| 24  | 浪速   | 田中 美来  | 270    | <p>声小さくてうすい。ペースの発声、発音をしっかりして、基本に忠実な読みをまですることができるようにしてほしい。発音が奥。口先での発声。弱い。来年もこの世に～：もっと力強く。今の読みでは諦めているように思う。腹から発声。優しすぎる。いい声だが、「読んでいる」感になっている。場面に合った読みができていない。この場面はそんなに感傷的ではないはず。自分の声質と文体がよく合っている。終わり方違う。24. 「去るときに」のあとの言葉が聞き取れません。「熱い」のアクセントが違います。「こんな幸せな」から別人のような声になりました。アナウンスにも挑戦して、着実な伝達ができるようになってほしいです。雰囲気先行していると思います。「きっと」の前のプレスは無くてもいいと思います。</p> <p>さらさらと軽やかに読んでいるが、内容シチュエーション考えるとこれでいいのか。「あんたがいつも～」怒っているよう。くさらずに：アクセント。弱い。もっと力がある人であってほしい。母のセリフの表現イマイチ。鳥谷のセリフも再考。「腐らずに」のアクセントは平板ではありません。「そういう」の前のポーズが長すぎると思えます。</p>   |
| 25  | プール  | 米島 明寿花 | 284    | <p>マイクに近すぎるのか、ふわふわと響きすぎて不明瞭に聞こえる。言葉を伝える、というより歌ってしまった耳に残らない。よしもと：ゆっくりで違和感。町の名前不明瞭。無声化苦手ですか？ 吹く。優しい読み。今日も私は～：吉本さんはどうい感情なのか分からない。情景伝わる読み方。間の取り方も◎。よしもとはなな息になっていない。この場面の描き方として表現が合っていない。情景描写が感傷的過ぎる。文末・文末をしっかり下げたい。切り方不自然なところあり。25. 「ちびんの」に聞こえます。「そんな夢」…抽出を注意深く考えたかったですね。「とても」が低いのはおかしいです。「大きな木」を気持ちを込めて言うことはできないと思います。「真っ青な空」も、そこまで演出すべき言葉とは思いません。「ふるさと東京」がとても積極的です。</p> <p>課題、男性のスポーツ選手の語り口を意識しているのは感じられた。母セリフ違和感。力強く読んでほしい。感傷的過ぎる。少し早口。鳥谷のセリフ。「病気に…きたことを」まで、そんなに低い声で言う必要は無いと思います。 吹かれに注意。</p>  |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前    | 得点/400 | 審査員講評  |
|-----|------|-------|--------|--|
| 26  | 梅花   | 大和 涼杏 | 281    | <p>アクセントが違うところが気になってしまった。場面選びは上手だと思う。声に芯が合って聞こえやすい。全体構成を捉えて終わり方を工夫してほしい。マイク遠い。うかべた：不明瞭。眺めた：アクセント。声がほぼマイクにのっていない。もっと間を使った方が想像しやすい。情景伝わる読み方。語尾のところが上がるのが注意。音が流れてしまっている。情景の描写丁寧に。区切り方再考。場面の解釈ができていない。「うかべた」つぶれる。文末ももっとはっきり響かせて。26. 「悲しみ」のアクセントが不鮮明です。「ひとまり」になりました。助詞伸び注意。「眺めた」のアクセントは平板ではありません。「できたての」や「柔らかに」を低くする理由が分かりません。わんわんとは頭高がいいと思います。「鱗」の「う」が消えました。声はよく出ています。アナウンスにも挑戦してください。</p> <p>「」の中と地の文の変化が乏しい。安定していて聞きやすい。「一生懸命で、」で切るのが違和感。感情が分からない。棒読みに近い。ツツツ切れている。締め方イマイチ。ポーズの入れ方。鳥谷さんが田中真弓さんになってしまいました。</p>   |
| 27  | 四天東  | 石川 日菜 | 279    | <p>単語が立ちすぎて、意味のまとまりで聞こえてこない。単語が立つがキーワードは聞こえてこない。弱くする工夫も効果的ではない。こまかく：不明瞭。かけてくれる：立ちすぎ。たいがい：アクセント。間をもっととってほしい。ちゅい寝に聞こえる。ささやきのような発声。もっと芯のある声が良い。音域を十分に使えており、情景がよく伝わる。緩急の使い分けも◎。音が流れている。場面の雰囲気づくりは良い。丁寧に表現しようとしている。間の取り方に工夫あり。締め方イマイチ。「ずぶぬれ～」の部分は前に近づけよう。最後の一文もっと思いを込めても。27. 「細かく」は「ま」だけ高く。「うただね」になってしまいます。「何か…冷えちゃう」は、そんなに魅力的な若い女性っぽい声かな？助詞伸びに注意。「指示だして」は平板がいいと思います。「sofaで」のあの「寝ていた」はつづれないほうがいいと思います。最後は息っぽくなってしまいました。</p> <p>男性スポーツ選手の語り口ではない。思し召し…アクセント注意。くださったんだよ：違和感。鳥谷セリフ違う。ポーズを入れるところを考えて。課題に入るための切り替えが不十分。ばななさんの母が言ったのかと思ってしまう。「思し召し」のアクセントが違います。</p> |
| 28  | 桃山学院 | 河合 駿  | 275    | <p>すらすら読めるが、大事なところが流れてしまいよく伝わらない。声はいいし音量もありそうだが、自分で抑えてしまっているような気がする。素直に声を前に出して。声を作っている。カメ：カミに聞こえる。見つけたときには～：うねり。死んでいた：急に暗い。地の文が笑っているように聞こえる。努力して：急に明るいの。情景伝わる読み方。やりすぎ。状況説明が感傷的過ぎる。よしもとなばなの息になっていない。場面の解釈ができていない。声の響き悪い。不自然な声の色。彼女のセリフが男になる。終わりは下げて。28. 地の文の雰囲気先を作りすぎていると思います。情報を伝達するための自然なしゃべりが、まだ身に着いていないと思います。「その日は」など、助詞伸びが見られます。無神経な質問の言い方は、うまくいったと思います。最低音まで下がるのは文末だけにしてほしいです。</p> <p>良かった。全体の流れが見えていた。声作っている。鼻にかかる声。思う：オムウに聞こえる。全体にもっと淡々と。「でったい」に聞こえます。母の言葉の間接引用の部分を、本当に女性のような口調で言う必要は無いと思います。最後はさすがに酔いしれすぎだと思います。</p>                             |
| 29  | 相愛   | 浜本 茉莉 | 入選     | <p>よく読めている。場面選びも適切。間がやや少ないので引き付けられない。キーワードなど強調したいところの前をためる工夫を。番：「ん」聞こえない。土：父に聞こえる。見た目の説明ももっと工夫して怖くできる。読み手が冷静すぎる。もっと緊張感が欲しい。緩急工夫。情景伝わるが、もう少し音域を広く使おう。音の輪郭甘い。文末の音少し苦しい。後置部分のうねり。場面の展開が欲しい。29. 「にじゅう」の「に」だけを高く。「緑色が濃くなって」丁寧に言いたかったです。「こんこん」は、そんなに高い音じゃなくてもいいと思います。息をひそめている場面、わざと長いポーズを使ってもいいと思います。</p> <p>前後を考えて、この淡々としたトーンで本当にいいのか。セリフ・地の文区別つけて。地の文弱い。強く読んでほしい。村上春樹と比べて、伝えるための熱量というか興味が、ちょっと足りない感じがしました。「ないか」を立て直す必要は無いと思います。</p>  |
| 30  | 府東   | 増田 空那 | 274    | <p>切れ目の助詞などが伸びて繋がっていくのが単調。音量がありマイクにもものので、素直に平らに読む基本から確認してみて。番号タイトルキレが欲しい。区切れすぎている。潮の流れで：立ちすぎる。句読点で切れすぎ。どうしてここを抽出したのか。何を伝えたい？ 語尾が少し伸びるクセがある。マイク少し近い。区切りすぎ。語りの息になっていない。単調な読み。区切りの音が伸びている。文末の低温が苦しそう。全体として聞かせる。30. ややマイクに近すぎるかな？本当に普段の声で読みましたか？息っぽく聞こえます。語尾伸び注意。無声化が身に着いていません。息継ぎが多すぎる。大きな意味のまとまりを作ったうえで、必要のない息継ぎは無しにしてください。</p> <p>そういうシチュエーションの話なのかよく考えてもう一度検討して。セリフ切れすぎ。～だよ：違和感。鳥谷のセリフ。文の音が中途半端なところがある。ツツツ切れの読み。助詞上りが気になる。母のセリフのフレーズ。最後もりあげたい。課題に入っても語尾伸びが続きました。</p>   |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前    | 得点/400 | 審査員講評  |
|-----|------|-------|--------|--|
| 31  | 関西千里 | 井内 優介 | 262    | <p>声量大きいが、強弱を声の大小でつけないほうが良い。活舌がやや甘く、言葉が聞こえてこない。音量を安定させてだんだん下がる平らな読みを確認。よしまとばなな聞こえる。翌日も×2：音程に差がある。朗読というより演劇に近くなる部分がある。ものすこく～：急に下がらず。少し演技調になってしまった。やりすぎ。不自然な高低処理。滑舌が甘い。場面の解釈ができていない。夕行等注意。「キ」の音。語りの表現になっていない。自分に酔っている読み。強弱のつけ方が不自然。響かない音がある。31。「小さな」から急に高くなりました。バナナさんは、そんなに叫ぶような口調でエッセーを書いたと思う？「温かく」は「たた」を高く。放送部の大会なので、放送部アナウンサーとしての伝達力も試されています。</p> <p>セリフの工夫が良い。「神様」のキーワードがよく立っていた。いっしょうけんめい：不明瞭。僕も思います：暗い。鳥谷のセリフ違う。場面を考えて。一語一語丁寧に。「」の扱いはそれでいいだろうか？勝手な解釈で意味のない肯定と切り替わりが続く。もっと淡々と。実在する人物が描いたモノログなので、そこまで振り切れた大きな表現は使いにくいと思います。</p>              |
| 32  | いちりつ | 川口 心咲 | 252    | <p>声小さく、やや発音滑舌が甘い。その分ゆっくり読むなど、伝わるように工夫を悲しい話で声を小さくしたりするとなお伝わらなくなる。声が弱い。腹から声を出してほしい。一語一語丁寧に。口先で話しているので、聞き手まで届かない。内容が入ってこない。ラ行。マイクに声のならない。一本調子になってしまった。読むのではなく伝えることを意識してみましょう。口元の発音。音が前に出ない。(笑)のある抽出はどうか？ 場面に合った読みを。締め方に疑問あり。32. 子音のsが、thに聞こえる箇所があります。文末以外の助詞が最低音まで下がってしまった箇所があります。途中から、マイクから遠くなったかもしれませんが。放送部の大会なので、放送部アナウンサーとしての伝達力も問われています。独り言を言っているような感じが続くこと、評価は難しいです。</p> <p>前後の内容を考えると、その地の文セリフの読みでいいか再考を。言葉にキレがない。弱い。横田さんはもっと強い人。ただ読んでいるという印象。課題文はずっとマイクから遠い感じが続きました。</p>   |
| 33  | 桃山学院 | 増瀬 咲香 | 265    | <p>セリフの人物の変化があまりないので分かりにくい。声の大きさや発音は安定している。全体に単調。間などでつたえる工夫を。鼻にかかる声。～だからあ：伸びる部分が多い。神戸でかなり～：速い。セリフ声の変化がある。どうしてここを抽出したの？何を伝えたいのですか？「」の文もう少し自然に読みましょう。セリフと地の文の区別がつかない。うねりあり。話についていけない。「待っている人」修飾関係がうまくいっていない。33. 作品名の中の「と」は、&amp;ですか？Withですか？分かりにくい音声になってしまったと思います。「誰かから」だけ低いのはおかしいです。会話の中はともかく、地の文の助詞が伸びるのをおかしいと思います。「僕」の言葉を、無理して大人の男っぽく低くしないでいいと思います。</p> <p>前後の内容を考えてこのトーンでいいか再考を。なつてもー：伸びる。くださった：不明瞭。男の人の声の口の奥での発音のため、クレヨンしんちゃんみたいになっている。母の言葉の間接引用の読み方が、ねちねちしすぎだと思います。「ないか」の立て直しは要りません。神様の思し召しは、残酷な思し召しですか？</p>                               |
| 34  | 浪速   | 吉尾 優里 | 272    | <p>アクセントの間違いがいくつかが気になる。声は大きくないが安定している。もっと素直に前に声を出してもよいのでは。やや速い。スピードに緩急を。化物っ：はねるような切り方。しかしその口は～：速くて聞こえない。どういう場面なのか想像できない。インパクトのある場面だが、テンポの設定それでいい？もう少しタメがある方がいい場所もあるのでは？ 場面に合った読みになっていない。音の輪郭が甘い。テンポや間に工夫が必要。単調に聞こえる。口先の発音。もっと声にパワーが必要。もう少しゆっくりでもいいのえでは。不気味さは伝わる。34. 1文目を一息で読むとしても、その中に含まれる重要な言葉がつぶれないほうがいいと思います。「種類」のアクセントは頭高です。「その立派な」ではないと思います。「しかしその口は」は、そんなに軽く速く言うんですか？「無駄と私は思った」と続けていいと思います。</p> <p>前後の内容を考えてこのトーンでいいか再考を。あんたがいつも～：怒っているように聞こえる。横田さんの言葉にしては弱い。母のセリフやモノログが合っていない。「」内の構造を考えて。「腐らずに」のアクセントは中高。吹かれに注意。最後がとても深刻になってしまいました。</p> |
| 35  | 府箕面  | 福本 稜馬 | 2位     | <p>読みがやや速い。緩急をしっかりつけて。セリフの読み方は良い。いい低音の響きを持っているので、いいところで使うと良い。声良い。うまさーなのだろう：伸びる。想像しやすい。ポーズの使い方Good。音域をうまく使って表現できている。間の取り方もOK。場面に合う表現方法を工夫している。マイクの使い方は再考。セリフよい。場面の变化もうまく捉えられている。「フ」の吹き。分かりやすい場面の抽出。光景は良く伝わる。35. タイトルを遅くしたのは良かったと思います。「なのだろう」がしつこい。「豆腐が」のアクセントは？ツェレツェレに聞こえます。吹かれに注意。「目に浮かぶ」が高止まり。「まだ三つ残っている」の手前の情報は、もっと軽くていいと思います。</p> <p>「」の中、母は良かったが、鳥谷はこれでいいか。全体の流れも再考を。～だよ：言い方違和感。鳥谷セリフ違う。横田さんとは違う朗読になっている。「」の扱いOK。鳥谷のセリフはイマイチ。「くさらず」アクセント「腐らずに」のアクセントは中高。読み間違いは大きな減点にはならないと思います。</p>  |

第71回 NHK杯全国高校放送コンテスト大阪大会 決勝 朗読部門 審査結果および講評

上段は自分の原稿についての講評、下段は課題原稿についての講評

| 審査順 | 学校名  | 名前    | 得点/400 | 審査員講評  |
|-----|------|-------|--------|--|
| 36  | 府天王寺 | 平井 理愛 | 271    | <p>低い声を使いすぎて発音がはっきりしなくなり、内容が入ってこない。作りすぎないほうが良い。声作っている。怖い声で読むと聞いている方は怖くなる。もっとナチュラルに発声してほしい。ポーズが良い。どうしてこの場所を選んだのだろう。場面を考えた朗読だが、もう少し音域を広く使おう。やりすぎ。苦しそうな低音。場面に合った読みになっていない。村上春樹の独特の息にシンクロできていない。意味が伝わらない。緩急・強弱の工夫。36. 番号からそんなに暗く怖くしなくていいと思います。普段の声で自然に伝達する力を身に着けてから朗読に取り組んでほしいです。音量のぶれが大きいです。内容に集中しにくい。「過去と化して」の「かして」は頭高です。放送部の大会なので、放送部アナウンサーとしての伝達力も問われています。「目が覚めた」だけ大きくする演出も微妙でした。</p> <p>内容を考えてこのトーンでよいか再考を。作りすぎない。セリフ違う。みちびいてくれた：アクセント。くしくも：高い。終わり違和感。母のセリフ、モノローグ、鳥谷のセリフ、すべて表現はどうか。少し不自然な声色が入るところあり。お母さんは、そんなにしおらしくしゃべるのかな？間接引用なので、そこまでしなくてもいいと思います。「導いて」は中高だと思います。</p> |